

令和 7 年度 豊見城市こども未来基金運用状況(令和 8 年 3 月 31 日時点)

令和年 6 年度基金残高	令和 7 年度基金活用実績額	令和 7 年度積立額	令和 7 年度基金残高
241,932,206円	25,034,240 円	13,980,976 円	230,878,942 円

【基金活用事業】

基金活用事業予定	基金活用事業結果
(1)国連を支えるこども未来会議開催委託料 2,200,000 円 SDGs について与えられたテーマに対し、グルーピングのうえディスカッションを行い、グループごとに発表会を実施。優勝グループは国連を支える子ども未来会議への参加権を得る。 (2)小中学校国際交流事業 1,818,000 円 小中学校の授業に国際交流事業を取り込むことで、グローバル化に対応した人材育成等を実施する。 (3)英語音読・プレゼン練習アプリケーション 4,104,000 円 中学校の授業に英会話力を強化する授業を取り込みグローバル化に対応した人材育成を行う。(アプリケーション使用料) (4)学力強化支援事業委託料 11,746,000 円 中学校の放課後に学力を強化する受験対策講座を取り込む。 (5)中学校英語検定試験等補助事業 3,951,000 円 中学生を対象に 1 年に 1 回英語検定試験等の受験費を支援する。	(1)国連を支えるこども未来会議開催委託料 2,200,000 円 SDGs について与えられたテーマに対し、グルーピングのうえディスカッションを行い、グループごとに発表会を実施。優勝グループは国連を支える子ども未来会議への参加権を得る。 (2)小中学校国際交流事業 1,755,980 円 小中学校の授業に国際交流事業を取り込むことで、グローバル化に対応した人材育成等を実施する。 (3)英語音読・プレゼン練習アプリケーション 4,103,550 円 中学校の授業に英会話力を強化する授業を取り込みグローバル化に対応した人材育成を行う。(アプリケーション使用料) (4)学力強化支援事業委託料 10,432,546 円 中学校の放課後に学力を強化する受験対策講座を取り込む。 (5)中学校英語検定試験等補助事業 2,800,862 円 中学生を対象に 1 年に 1 回英語検定試験等の受験費を支援する。

(6)登校支援員配置事業 2,260,000 円 不登校若しくは登校渋りのある児童の登校支援、相談支援及び関係機関との連携を行い児童生徒の社会的自立及び学びの保障を図る。 (7)校内支援教室物品整備事業 2,317,000 円 校内支援室の備品購入費(パーテーション、ホワイトボード等)	(6)登校支援員配置事業 2,259,262 円 不登校若しくは登校渋りのある児童の登校支援、相談支援及び関係機関との連携を行い児童生徒の社会的自立及び学びの保障を図る。 (7)校内支援教室物品整備事業 1,482,040 円 校内支援室の備品購入費(パーテーション、ホワイトボード等)
---	---

※金額は基金から充当する(した)額であり、事業費と異なる場合があります。